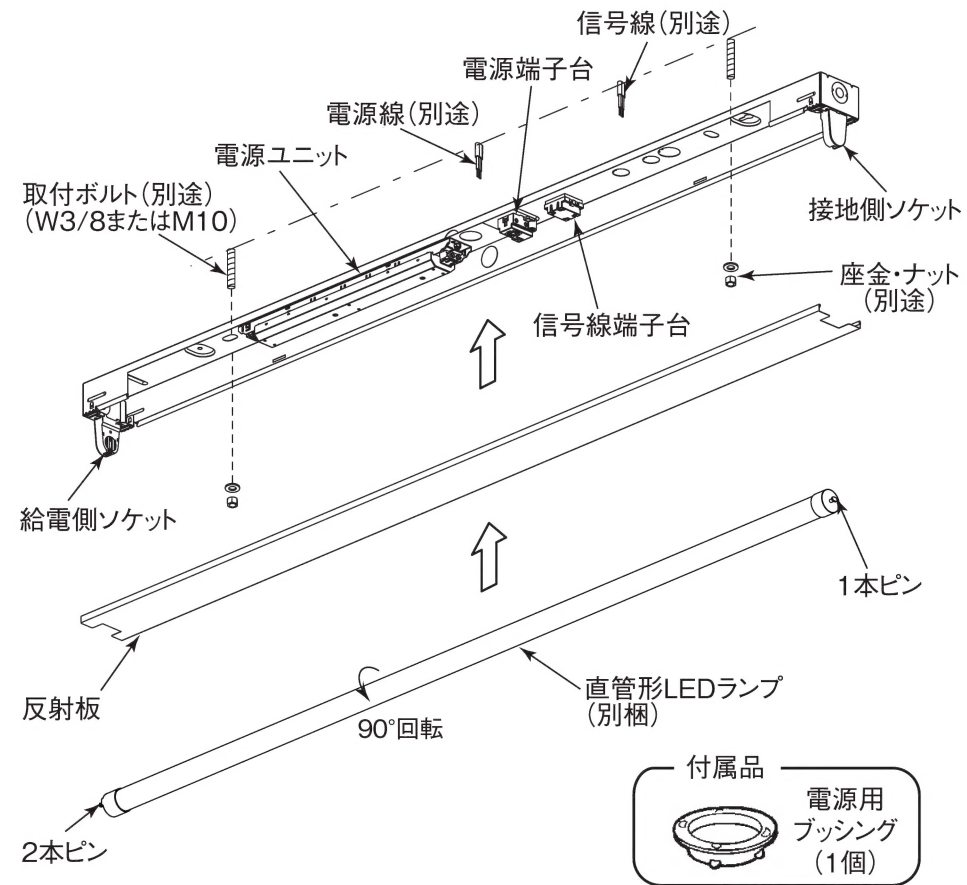
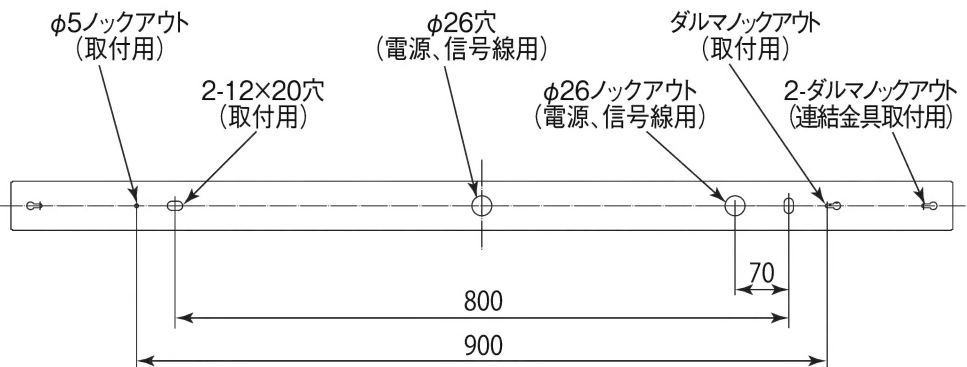


各部のなまえと取付けかた **⚠ 警告** 器具の取付けは取扱説明書に従い行う (不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)



取 付 穴

(単位 mm)



1 取付前の確認

- 器具質量に十分耐えるよう取付ボルトまたは木ねじ取付部の強度を確保する。
 - ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8またはM10を使用する。
 - ・木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径4.1以上を使用する。

⚠ 警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
(落下の原因)

2 ソケットを取付ける

- 本体に内蔵してあるソケットを、ソケット台へ差し込む。

3 器具本体を取付ける

- (1) 電源線・アース線・信号線を本体電源穴から引き込んでおく。
- (2) 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取付ける。

⚠ 警告

取付けが不完全な場合落下の原因

4-1 電源線を電源端子台に接続する

(初期照度補正形で使用する場合、4-2項は不要です)

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

⚠ 警告

接続が不完全な場合は、接続不良による
発熱により火災の原因

- (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

⚠ 警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い
行う (アース工事が不完全な場合は
感電・火災の原因)

〈D種(第3種)接地工が必要です。〉

- 電源端子台の容量は **20A** です。
- 適合電線：φ1.6mm単線 φ2.0mm単線

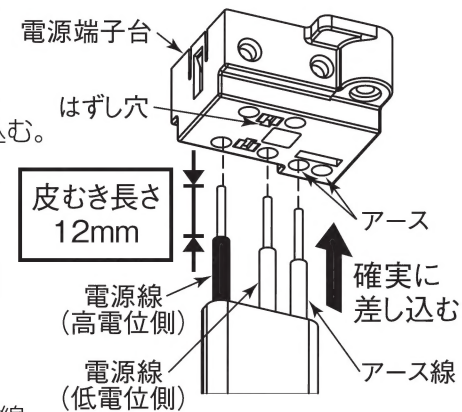
⚠ 警告

送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する
(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

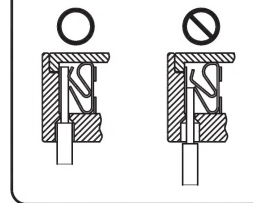
⚠ 警告

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、
1本ずつ速結端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は
接触不良により火災・感電の原因)

- 電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナス
ドライバーをはずし穴にまっすぐに差し込んでください。



接続状態



4-2 信号線を信号線端子台に接続する

(連続調光で使用する場合のみ)

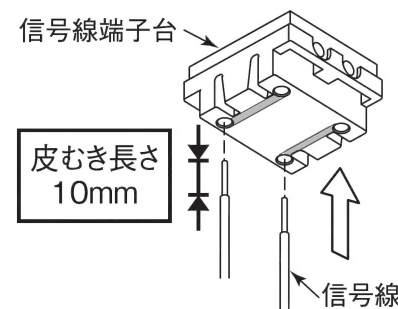
- 信号線を信号線端子台の差し込み穴に
確実に差し込む。
適合信号線 φ0.9mm～φ1.2mm
CPEV-1P

接続が不完全な場合、動作不良の原因と
なります。

- 調光信号が入力されると、初期照度補正
は解除されますが、連続点灯時間はカウ
ントし続けます。

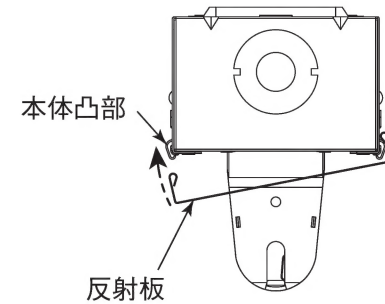
⚠ 警告

信号線端子台には電源線を接続しない
(過熱・損傷し火災の原因)



5 反射がさを取付ける

- 反射がさを本体側面の凸部に確実にはめ込む。

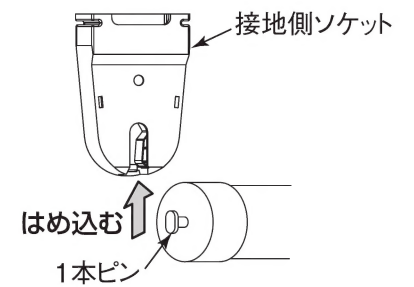


⚠ 注意

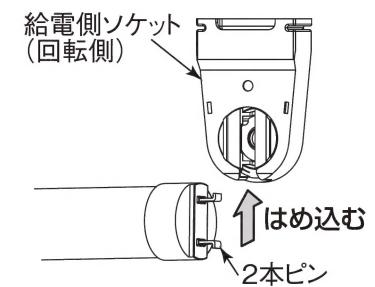
取付けが不完全な場合落下の原因

6 ランプを確実に取付ける

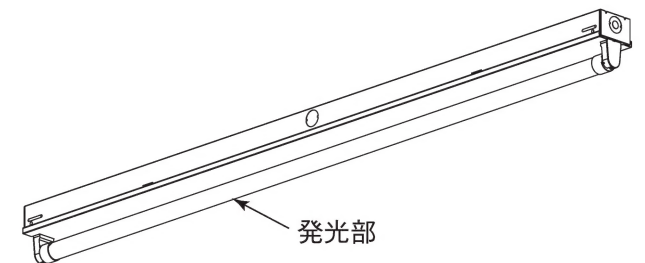
- (1) 接地側(ランプ1本ピン) を取付ける。



- (2) 給電側(ランプ2本ピン) を取付ける。



- (3) ランプの発光部が照射方向となるように90度回転させ確実に取付ける。



⚠ 注意

取付けが不完全な場合落下の原因